

みずほCustomer Desk Report 2021/01/08号 (As of 2021/01/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	103.01 AUD/USD
TKY 9:00AM	103.02	1.2338	127.11	1.3622	0.7814
SYD-NY High	103.95	1.2344	127.49	1.3631	0.7815
SYD-NY Low	102.95	1.2245	126.92	1.3533	0.7726
NY 5:00 PM	103.83	1.2270	127.41	1.3565	0.7769
NY DOW	31,041.13	211.73	日本2年債	-0.12	1.00bp
NASDAQ	13,067.48	326.69	日本10年債	0.03	1.00bp
S&P	3,803.79	55.65	米国2年債	0.14	0.20bp
日経平均	27,490.13	434.19	米国5年債	0.46	3.02bp
TOPIX	1,826.30	30.12	米国10年債	1.08	4.23bp
シカゴ日経先物	27,625.00	285.00	独10年債	-0.55	0.10bp
ロンドンFT	6,856.96	15.10	英10年債	0.28	4.00bp
DAX	13,968.24	76.27	豪10年債	1.05	4.10bp
ハンセン指数	27,548.52	▲143.78	USDJPY 1M Vol	5.95	▲0.25%
上海総合	3,576.20	25.33	USDJPY 3M Vol	6.26	▲0.09%
NY金	1,913.60	5.00	USDJPY 6M Vol	6.48	▲0.13%
WTI	50.83	0.20	USDJPY 1M 25RR	-0.53	Yen Call Over
CRB指数	172.31	0.21	EURJPY 3M Vol	6.45	0.03%
ドルインデックス	89.83	0.30	EURJPY 6M Vol	6.75	0.02%

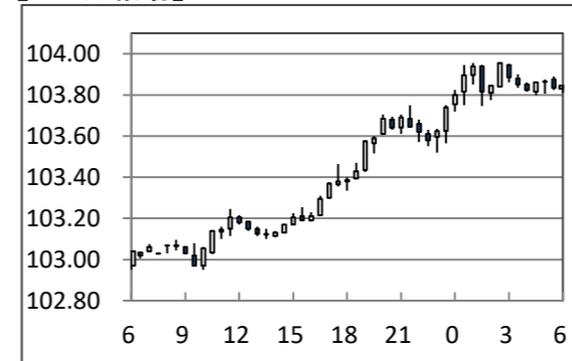
【昨日の指標等】

Date	Time	豪	独	欧	米	Event	結果	予想
1月7日	09:30	豪				貿易収支	11月 A\$5022m	A\$6400m
	16:00	独				製造業受注(前月比/前年比)	11月 2.3%/6.3%	-0.5%/2.1%
	19:00	欧				小売売上高(前月比/前年比)	11月 -6.1%/-2.9%	-3.4%/0.9%
	19:00	欧				消費者信頼感・確報	12月 -13.9	-
	19:00	欧				CPI(前月比/前年比)	12月 0.3%/-0.3%	0.3%/-0.3%
	22:30	米				新規失業保険申請件数	- 787k	800k
	22:30	米				貿易収支	11月 -\$68.1b	-\$67.3b

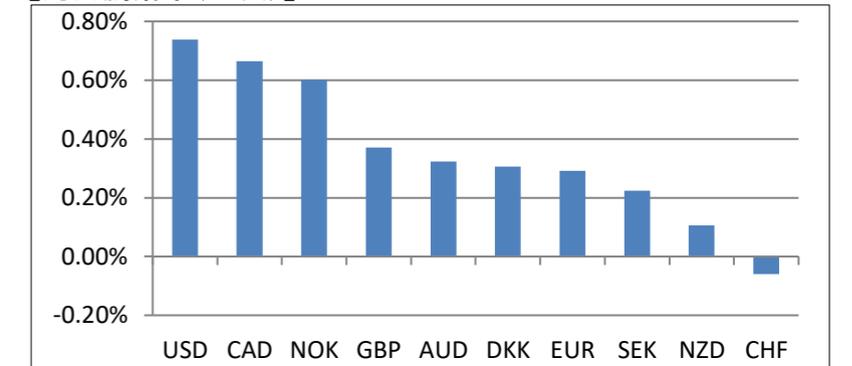
【本日の予定】

Date	Time	豪	独	米	Event	予想	前回
1月8日	16:00	独			鉱工業生産(季調済/前月比)	11月 0.8%	3.2%
	22:30	米			非農業部門雇用者数変化	12月 50k	245k
	22:30	米			失業率	12月 6.8%	6.7%
	22:30	米			平均時給(前月比/前年比)	12月 0.2%/4.5%	0.3%/4.4%
1月9日	00:00	米			卸売在庫(前月比)・確報	11月 -0.1%	-0.1%
	01:00	米			クラリダFRB副議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.30-104.30	1.2200-1.2350	126.50-128.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はじりじりと上昇する展開であった。民主党が上院決選の投票で勝利したことにより、上下両院で多数派を確保する「トリプルブルー」になった報道を受け、大型財政政策の実現への期待感から、米長期金利が1%台で推移。これを受けドル円も103円台後半まで上昇。また、米12月ISM非製造業景況指数が予想を上回ったこともあり、103.95を付けるも押し返され、一巡後は103円台後半での推移となった。本日のドル円は底堅い値動きを予想。引き続き米長期金利の動向を睨みながら、ドル買い戻しの展開が継続するだろう。尚、本日は米雇用統計の発表を控えているが、鈍化が予想されている中、市場予想を上回れば一層ドル買いの展開になることが予想され、アップサイドリスクには警戒したい。

東京	東京時間のドル円は103.02レベルでオープン。オープン直後は103円を下回る場面もあったが、その後反発し103.25まで上昇した。しかし新型コロナウイルスの新規感染者数が2000人を超えて過去最高となったことや、米国議事堂でのトランプ支持者による暴動によってその勢いは収まり103.19レベルで海外へと渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は103.19レベルでオープンし、上昇。民主党が上院決選の投票で勝利したことにより、民主党が大統領選の勝利に加えて上下両院で多数派を確保する「トリプルブルー」になった。本報を受け、市場ではバイデン次期政権が目指す大型財政政策の実現がほぼ確定、という見方が広がり、前日から米国債が売られる流れになり、それまでコロナ禍で1%以下のイールドで推移していた米長期金利が昨年3月以来の1%台で推移。ドル円は、この上昇に連れられる形で上昇し、一時103.75まで高値を伸ばした。103.61レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ブルーウェーブを背景にした米金利上昇を受け、ドル買いが継続したことから、海外市場のドル円は103.75まで戻し、103.61レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想を下回る一方、米11月貿易収支が輸入増を受け予想以上に赤字額が増加したが、ドル円の反応は限定的となる。10時に発表された米12月ISM非製造業景況指数が予想を上回ったこともあり、米10年債金利が1.08%台まで上昇する中、ドル買いが継続し、ドル円は103.95まで戻す。しかし104円ちょうどから104.30あたりは売りゾーンとの見方に、103.75まで反落する。午後はペロン下院議長の「トランプ氏を米憲法修正第25条で免職すべき」との発言や、カプラン・ダラス連銀総裁の「Fedは利回り上昇を防ぐために介入すべきでない」等の発言が伝わり、NYで新たなコロナ感染者数がパンデミックが始まって以来最高になったことが明らかになったが、市場の反応は薄く、狭いレンジでの推移が続く103.83レベルでクロスした。一方、米金利上昇を受けたドル買いが継続し、海外市場で1.2245まで下落したユーロドルは、1.2268レベルでNYオープン。朝方は1.2282まで戻す局面もあったものの、米ISM非製造業景況指数結果を受けたドル買いに1.2246まで再び反落する。午後は、イタリアが2220億ユーロの欧州のコロナ復興基金の使用を申請する計画とのヘッドラインが伝わったが特段の為替市場の反応は見当たらず、その後は方向感の無い推移が続く。1.2270レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア		6	15